

通山小は今年度も家庭・地域がつながって子どもたちの心を育てます

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動への御理解と御協力を賜りましてありがとうございます。本年度も昨年度に引き続き、「道徳だより こころざし」を発行し（今年度は年間3回発行）、各学年の道徳の授業の取組や道徳教育の取組についてお知らせしていきます。ぜひ、御一読ください。

令和元年度の道徳教育重点内容（学校重点目標）

A 個性の伸長

自分のことをよく知り、よいところを伸ばすこと。

B 親切、思いやり

身近な人に思いやりの心で接し、親切にすること。

C 規則の尊重

約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。

D 生命の尊さ

生命の尊さを知り、生命を大切に思うこと。

3年生の授業より

こんな学習をしました

「ごめんね、サルビアさん」という教材を使って、「自然愛護」についての学習をしました。

<ねらい>

動植物に対して心を込めて世話をすることのうれしさや喜びに気づき、身近な自然や動植物を大切にしようとする態度を養う。

教材の内容

5月にサルビアのなえを植えた主人公は、「たいせつに育てよう」と心に決めた。しかし、梅雨の時期になり、水やりもしなくていいので、様子を見に行かなくなってしまった。7月になったある日、お母さんからサルビアがしおれていることを知らされる。お母さんから「お花の気持ちになって。」と言われた主人公の気持ちを考えることで、植物の世話をするときに大切なことは何かを考えさせる教材である。

「自分だったら、サルビアのお世話をしようという気持ちはどのくらいだと思いますか。」

- ちゃんとしないと思うけど、めんどくさいと思う気持ちもある。
- かならずしようと思う。植物も人と同じで、のどがかわくから。
「わたしが『花の気持ちになって』とお母さんに注意されて気付いた大切なこととは何だと思いますか。」
- 自分たちはいつでも飲めるけど、花は水かけをしないとかれてしまう。
- 花もひっそりとたえているんじゃないかな。



【考えを伝え合おう】

ほとくの考え方とにているなあ。

子どもの振り返りより

- 今まで友達と遊びたいと思っていただけ、水かけをしようと思った。
- これからはお花がどんな気持ちになるのか想像しながらぞだてようと思う。
- 今まで後でやろうと思ってやっていたんだけど、これからはさいしょにやっというと思う。



6年生の授業より

こんな学習をしました

「ロレンソの友達」という教材を使って、「友情・信頼」についての学習をしました。

<ねらい>

三人それぞれの対応のあり方やそれぞれの考えについて足りない点を考えるなかで、よりよい人間関係を構築するためには、信じるのが大切であることに気づき、互いに信頼し、友情を深めようとする心情を育てる。

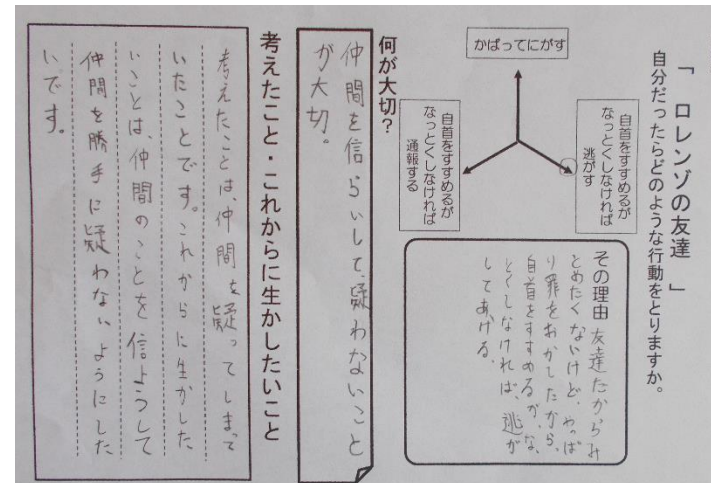
教材の内容

幼い頃、時間を共有した4人の物語である。ある日、一人故郷を離れていたロレンソから他の三人に手紙が届く。手紙には、まもなく帰郷することと再会を楽しみにしていることが綴られていた。しかし、三人にはほぼ同じタイミングでロレンソが会社の金を持ち出し、逃亡をしているという知らせも入る。三人のロレンソの友達がどのように応じればよいかを悩み、葛藤する場面を描いた物語である。ロレンソを逃がそうとするアンドレやサバイユと、ロレンソが自首を拒んだとしても警察に知らせようと考えているニコライが対比されている。そのニコライの姿から、相手の思いや将来のことまでを真剣に考えて正しいと思ったことを伝え、互いに高め合おうとする友情について考えることのできる教材である。



【自分の考えをネームで示す】

自分の考えや立場をネームで示し、そう考えたその理由を発表しました。



6年生のみんなは、「よりよい友達関係を作るために大切なこと」について、一生懸命考えていました。

互いに信頼し合って、よりよい人間関係をつくることのできるようになるといいですね♪



